

令和6年度 学校だより1月号	流山市立市野谷小学校 〒270-0137 流山市市野谷 283 番地 Tel 04-7158-2770 電話対応時間 7:30~17:30 本校 web ページ QR https://schit.net/nagareyama/itinoyasyou/
学校と家庭、地域をつなぐ 市野谷だより	
発行日 令和7年1月7日	

新しい年を迎え、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。3学期は、1年のまとめをすると同時に、3か月後に次の学年が上がるための準備としても、とても大切な時期です。子どもたちに新たな学年に向けての希望を持たせていきながら取り組んで参ります。今年も本校の教育活動へのご協力の程よろしくお願ひいたします。

「オール市野谷」の取り組み(クラブ活動)

本校では、子どもたちのために地域・保護者・学校が力を合わせていく活動として「オール市野谷」の活動を行っています。市野谷ボランティア親の会や学校支援コーディネーターの方々が中心となって子どもたちの活動を支えてくださっています。毎朝の登校時の旗振りをはじめ、「学習支援ボランティア」としてミシンボランティアやタブレット端末の支援、町探検の見守りなど様々な形で「オール市野谷」として市野谷小の子どもたちをサポートしていただいている。本当にありがとうございます。

さて、今年度、官民連携教育の一つとして子どもたちのクラブ活動において、千葉県現代産業科学館とタイアップして、科学館の職員をゲストティーチャーとして「科学クラブ」を新設しました。子どもたちは、科学館の職員の専門的なスキルをもとに「光るスライム」や「LED ミニライト作り」など、科学の楽しさを味わいながら学びを深めています。また、科学館の方も子どもたちがわくわくしながら活動している姿を見ると、教えている側として「とてもやりがいがある」とおっしゃっていました。この取り組みの良さは、科学館の方も科学の楽しさを伝える喜び、子どもたちも科学の楽しさを味わう喜び。互いに Win-Win となる関係があります。

つきましては、次年度はこのようなクラブ活動の充実をさらに推進していくために新しいクラブの設置ができたらと考えています。保護者の方の趣味やスキルを生かして新たなクラブ活動のゲストティーチャーをやっていただけないかと考えています。また、既存クラブの支援ボランティアとして活動をサポートしていただけたらと考えています。

新設のクラブは、例えば「ヨガクラブ」や「絵手紙クラブ」「刺繍クラブ」「本校にある3D プリンターを用いたクラブ」、…など保護者の方々の趣味やスキルと子どもたちの興味関心をマッチングさせて更なる活動の充実を図れないかと思っています。この活動は、保護者の方がゲストティーチャーとして主要な立場で指導にあたっていただき、教員が活動をサポートする体制をとります。また、支援ボランティアでは既存のクラブで子どもたちと一緒に活動し、サポートしていただけたらと考えています。クラブ活動の回数は、年間行事で決まっている全8回。学校のクラブ活動は、異学年の同好の者が集い、活動を行います。保護者の方々も同好の方々との輪を広げていただきながら、子どもたちの活動を支えていただけたらと考えています。

ぜひ皆様のやる気とスキルを子どもたちのためにご協力いただけたらと思います。

校長 松山 秀行

学級編成について

本校では、毎年学級編成を行います。毎年学級編成を行うことで、多くの友達と出会い、たくさんの楽しい思い出を作つてほしいと考えています。また、先生や友達関係が新しくなることで、新たな気持ちで「新しい自分のよさ」に気づいたり、引き出してくれることも期待しています。

市野谷小 流山市R1読書グランプリ 第2位

流山市教育委員会主催による、秋に子どもの読書推進を目的として行われた「R1読書グランプリ」の学校図書館での貸し出し冊数をもとにした「学校表彰の部」にて、市野谷小学校の子どもたちが市内で2番目に多く本を読んだということでグランプリ第2位を受賞しました。また、好きな本のポップ制作に取り組む「個人表彰の部」では、本校の児童2名も受賞となりました。とてもうれしいお知らせです。

これは、開校して間もない図書室を利用しやすく整備したり、子どもたちに本の楽しさを味わってもらおうと定期的に読み聞かせを行うなど、「読み聞かせボランティア」の方々と学校図書館司書や担当教諭がワンチームとなって、子どもたちの読書推進に努めていただいたおかげと思っています。また、5人の5・6年生の図書委員会の子どもたちも、全校のみんなにもっと本を読んでもらおうとキャラクターを用いて読書推進活動を企画するなど、楽しみながら全校に呼び掛けてくれた子どもたちにとってもうれしい知らせとなりました。

今後も市野谷小の素敵な図書室を大切に活用しながら読書推進に努めてまいります。